

持続型農業生産技術分野この一年

持続型農業生産技術分野長 助教 平田 統一

当分野の平成28年度を振り返ると、まず12月16日に滝沢農場の開設50周年記念式典を開催できたことが挙げられます。滝沢農場は、昭和41年に現在の滝沢市菓子地区に開設されたもので、以来、学生実習や教員の研究の場、一般市民へのエクステンションの場として活用されてきました。この度はFSC平成28年度収穫祭と併せて、学長、学部長始め多くの来賓を得て50周年を祝い、これからの50年、100年もまた当分野の維持・発展に努める決意を新たにできたことは意義深いことでした。なお、分野を構成する御明神牧場もまた、開設されて110年目となる年でした。



佐川 了前教授の後任として、11月1日付けで由比 進教授が農研機構東北農業研究センターから着任されました。先生の主たる研究対象は蔬菜園芸であり、当分野の専門性が大きく広がり、利

活用も増えると期待されます。

また、人事関係では、4月には御明神牧場配属の千田広幸技術専門員が農学系第1技術室長に着任しました。定年退職後1年間再雇用で御明神牧場に勤務していただいた赤坂 茂前第1技術室長は平成29年3月で退職されることとなりました。FSC副事務長の山崎信也さんもこの3月に定年退職となります。御明神総合施設の事務を担当した小野寺昭好さんは6月に動物病院へ異動となり、後任の配置はありませんでした。御明神牧場の女性技術職員は12月の末から産休・育休に入り、次世代支援事業により代替職員として、田口潤一さんが29年1月に着任しました。特に御明神牧場では職員の出入りがあり、常勤技術職員が退職後の後任を採用することも難しく、新年度の施設の維持管理・業務遂行に不安を感じる状況になっています。

御明神牧場では、農学部附属動物医学食品安全教育研究センターFAMSが中心となって受託した日本中央競馬会の大型研究助成事業の一部を実施しています。3年間かけて、黒毛和種の牛白血病清浄化モデル開発を行う予定です。この事業では補佐員として赤澤美圭子さんが採用されています。

この紙面では紹介しきれないことがたくさんあった、多忙な中にも充実した一年でありました。

循環型森林管理技術分野この一年

循環型森林管理技術分野 農学系第二技術室長 佐々木 一也

循環型森林管理技術分野は、演習林の運営を行っています。岩手大学の演習林は、それぞれ特長を持った御明神演習林(1,040ha:雫石町)と滝沢演習林(281ha:滝沢市)で構成され、専任教員2名と技術系職員9名がその運営に当たっています。

大学が第3期中期目標期間に入った今年度を振り返ってみます。

平成28年度における当分野の一番の話題に挙げられるのは、「教育関係共同利用拠点」として文部科学省から認定を受けたことです(FS NEWS No.27参照)。全国のすべての高等教育機関の学生が岩手大学演習林を実習フィールドとして利用できることになったこの認定は、演習林を広く地域に、全国に開くことを意味します。初年度に当たる今年度、早速鹿児島大学、岩手県立大学、富士大学、日本大学等の学生が訪れ、利用しています。森林科学分野のみならず環境・生物系はもちろん、経済・社会・教育など文化系も含め、一人でも多くの学生の演習林利用を促進すべく、今後、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

また、ここ数年重点的に取り組んできた社会人技術者の育成も、新たなフェーズを迎えようとしています。岩手県が平成29年4月に、「いわて林業アカデミー」を開講します。産官学で取り組

んできた人材育成の一つの集約としてその発展が期待されています。岩手大学(演習林)も側面的に協力・支援を行っていきたいと思います。

岩手大学は、平成28年度期首に、大規模な組織再編を行いました。農学部も従来の課程等が見直され、これまで課程のコースであった森林科学コースが学科として独立し、森林科学科が誕生しました。社会の、また受験生の、森林科学に対するニーズが高まり、多様化してきている現代において、今後の飛躍が期待されます。演習林は、まさに森林科学の追究を裏から支える大きな役割を担っていると自負しています。各方面からの期待に応えるよう、教職員一丸となって、森林科学科をはじめとする多くの関係分野と緊密に連携・協力しながら、担うべき役割を十全に果たしていきたいと考えています。

今後ともご指導ご支援をお願いします。



公開森林実習

● 新任教員の紹介

持続型農業生産技術分野 教授 由比 進

昨年11月、晩秋の寒々とした風景の中で始まった私の大学農場生活。今は雪に包まれた美しい景色を眺めながら書いています。気温は氷点下でも力強さを増していく日差しに、春が近いことを感じる2月。そんな農場で、私にとって初めての学生実習に関わってきました。教員・技術職員一体となって取り組む実習の後、複数の学生が「食べることの意味、食べ物のありがたさを改めて感じた」との感想を寄せてくれました。本や文献やネットで、いくらでも知識を得ることのできる現代。そんな今だからこそ、現物=ホンモノを見て、触れて、育てることの重要性を改めて感じています。学生には、知識だけでなく生きていくための「知恵」を感じて、体験して行ってほしい。そのための農場にしていこう。窓の外の白い風景を眺めながら、春からの実習の構想を膨らませます今日この頃です。



平成28年度 エクステンション活動一覧

職業的専門家(経営者・技術者等)を対象とするもの

- | | |
|--|-----------------------|
| ① 第13回 森林マルチエンジニア養成アドバンススクール | H28. 5/23(月)～ 5/27(金) |
| ② 第59回 フォレストテクニカルエクステンション -循環型森林管理技術普及プログラム(12)- | 9/26(月) |
| ③ 第60回 フォレストテクニカルエクステンション -循環型森林管理技術普及プログラム(13)- | 11/ 9(水) |
| ④ 第61回 フォレストテクニカルエクステンション -岩大型作業路普及プログラム(33)- | 10/24(月)～10/25(火) |
| ⑤ 第62回 フォレストテクニカルエクステンション -岩大型作業路普及プログラム(34)- | 10/31(月)～11/ 2(水) |
| ⑥ 第63回 フォレストテクニカルエクステンション -岩大型作業路普及プログラム(35)- | 11/ 8(火)～11/11(金) |
| ⑦ 第64回 フォレストテクニカルエクステンション -岩大型作業路普及プログラム(36)- | 11/14(月)～11/15(火) |

一般市民・児童生徒を対象とするもの

- | | |
|--|------------------|
| ① イーハートブの森と家づくりフォーラム 植林体験 | H28. 4/24(日) |
| ② 公開講座 第141回 フィールドセミナー 植物観察シリーズ(22) | 6/ 5(日) |
| ③ 第142回 フィールドセミナー 総合的学習時間における森林学習(37) | 7/ 5(火) |
| ④ 第143回 フィールドセミナー 総合的学習時間における森林学習(38)
-技術職員と学ぶ森林作業- | 7/ 6(水) |
| ⑤ 第11回 哲学者 内山 節氏を迎えての「哲学の森」 | 8/20(土)～ 8/21(日) |
| ⑥ 牧場体験 子牛の誕生? -トラクタに乗ろう- | 9/17(土)～ 9/18(日) |
| ⑦ 公開講座 第144回 フィールドセミナー 植物観察シリーズ(23) | 10/ 2(日) |
| ⑧ 公開講座 第145回 フィールドセミナー 親子シリーズ(21) | 11/13(日) |
| ⑨ 公開講座 第146回 フィールドセミナー 御明神演習林への旅 | 11/15(火) |
| ⑩ 公開講座「かんじきを履いて冬の森を歩こう」 | H29. 2/19(日) |
| ⑪ 公開講座 第147回 フィールドセミナー 親子シリーズ(22) | 3/26(日) |

センター開放的事業

- | | |
|---------------|--------------|
| ① ブルーベリー摘み取り園 | H28. 7/20(水) |
| ② ブルーベリー摘み取り園 | 7/27(水) |
| ③ 第15回 森の駅市場 | 8/ 4(木) |
| ④ 第16回 森の駅市場 | 11/25(金) |

岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

〒020-8550 盛岡市上田3丁目18-8 TEL:019(621)6234

E-mail:fsciu@iwate-u.ac.jp <http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/~fsciu/>

発行責任者/寒冷フィールドサイエンス教育研究センター長 澤口 勇雄
編集責任者/寒冷フィールドサイエンス教育研究センター 山本 信次